

『大上地区社協』ニュース



■ No.50

■平成24年11月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

大上地区社協の最近の活動報告 「その2」

11月3日(土) 北の台小学校の“わいわいサークル”に協力

北の台小学校PTAが主催する恒例の「わいわいサークル」が今年も11月3日(土)に同校のグラウンドで、午前10時から午後1時まで開催されました。

この催しは、子ども達とのふれあいと地域の交流を目的として同校のPTAが毎年実施しているもので、PTAを中心に大上自治会1区や青少年健全育成会、子ども会、サッカー団などが参加。会場のグラウンドでは豚汁、餅、焼きそば等の販売、そしてフリーマーケットや造形遊び、おもちゃ遊び等で子どもや保護者、近隣の人たち約1,000人が参加して秋の一日を楽しんでいました。

この催しに蓼川地区社協は以前から参加しているが、大上地区社協は、今回初めて参加。風船で似顔絵などを描いて竹竿に飾る造形遊びに、大勢の子ども達楽しんで参加していました



風船に思いを込める子ども達

11月4日(日) 通所施設・ファミールの“秋まつり”を協賛

綾瀬市の補助金で運営されている障害者の通所施設「ファミール」は、今年も11月4日(日)に“ファミール秋祭り”を催し、通所者が作った味噌等の自主製品や協賛団体の茹で玉子、フランクフルト等の販売などに近隣の大勢の人が集まっていました。また、空間市長、橋衆院議員もかけつけていました。

この催しに大上地区社協は大上自治会と共に協賛しており、ファミールがある9区の理事の大石登美子さんが地区社協から推薦され、実行委員として参画しています。



ファミール秋祭りの会場入口

11月9日(金) 北の台小学校の「学年発表会」に招待される

北の台小学校では、6月の2・4・6年生の学年発表会に続いて11月9日(金)には1・3・5年生の学年発表会を開催し、保護者と共に今回も大上地区社協の下校見守り会員も招待され、市ノ澤会長以下10名が出席しました。

当日は、同校体育館で午前9時45分から1年生の音楽劇「おむすびころりん」から始まり、3年生の音楽劇「プレーメンの音楽隊」、そして5年生の北の台太鼓「和」の発表があり、日頃の練習の成果の披露に集まった大勢の見学者は盛んに拍手を送っていました。

特に5年生の太鼓にはアンコールの声が出て、再演に改めて大きな拍手が湧いていました。



上から1年生、3年生、左は5年生の熱演風景